

令和 5 年 度

財 務 諸 表

貸 借 対 照 表
正味財産増減計算書
キャッシュ・フロー計算書
附属明細書
財産目録

(監 査 報 告 書 添 付)

公益財団法人新国立劇場運営財団

目 次

1.	貸借対照表	P.3
2.	正味財産増減計算書	P.4
3.	正味財産増減計算書内訳表	P.5
4.	キャッシュ・フロー計算書	P.6
5.	財務諸表に対する注記	P.7
6.	附属明細書	P.9
7.	財産目録	P.10
8.	会計監査報告書	P.11
9.	監査報告書	P.15

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,194,740,389	1,191,523,086	3,217,303
未収収益	99,018	12,826	86,192
未収金	387,331,371	333,496,593	53,834,778
棚卸資産	122,125,821	129,185,725	△ 7,059,904
前払金	52,417,986	50,512,168	1,905,818
前払費用	16,334,760	16,325,328	9,432
仮払金	4,502,990	5,801,450	△ 1,298,460
立替金	1,401,957	341,226	1,060,731
流動資産合計	1,778,954,292	1,727,198,402	51,755,890
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	100,300,000	100,300,000	0
基本財産合計	100,300,000	100,300,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当特定資産	868,424,106	859,898,630	8,525,476
30周年記念事業特定費用準備資金	100,000,000	40,000,000	60,000,000
公演事業等指定寄附特定資産	34,294,213	24,408,570	9,885,643
特定資産合計	1,002,718,319	924,307,200	78,411,119
固定資産合計	1,103,018,319	1,024,607,200	78,411,119
資産合計	2,881,972,611	2,751,805,602	130,167,009
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	619,252,362	560,442,478	58,809,884
前受金	512,933,295	589,017,391	△ 76,084,096
預り金	53,228,782	116,600,542	△ 63,371,760
賞与引当金	100,874,940	95,549,448	5,325,492
流動負債合計	1,286,289,379	1,361,609,859	△ 75,320,480
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,129,972,100	1,121,491,900	8,480,200
固定負債合計	1,129,972,100	1,121,491,900	8,480,200
負債合計	2,416,261,479	2,483,101,759	△ 66,840,280
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	134,594,213	124,708,570	9,885,643
指定正味財産合計	134,594,213	124,708,570	9,885,643
(うち基本財産への充当額)	(100,300,000)	(100,300,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(34,294,213)	(24,408,570)	(9,885,643)
2. 一般正味財産	331,116,919	143,995,273	187,121,646
(うち特定資産への充当額)	(100,000,000)	(40,000,000)	(60,000,000)
正味財産合計	465,711,132	268,703,843	197,007,289
負債及び正味財産合計	2,881,972,611	2,751,805,602	130,167,009

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,012	2,006	6
特定資産運用益	132,316	22,774	109,542
受取寄附金等	295,090,262	320,971,830	△ 25,881,568
受託収益	4,247,301,000	4,467,210,957	△ 219,909,957
研修事業等収益	65,388,097	51,919,516	13,468,581
公演事業収益	2,517,588,939	2,022,886,390	494,702,549
施設使用料収益	225,322,932	274,312,542	△ 48,989,610
受託事業収益	287,032,355	393,274,601	△ 106,242,246
附帯事業収益	2,226,600	113,044	2,113,556
協賛金収益	120,942,270	125,776,667	△ 4,834,397
雑収益	7,497	7,561	△ 64
経常収益計	7,761,034,280	7,656,497,888	104,536,392
(2) 経常費用			
事業費	7,242,052,207	7,402,890,071	△ 160,837,864
役員報酬	49,743,479	48,388,610	1,354,869
給料手当	993,307,112	956,134,958	37,172,154
福利厚生費	201,184,648	189,883,350	11,301,298
一般管理費	966,848,722	986,706,105	△ 19,857,383
交流・研修費	329,440,265	296,021,928	33,418,337
施設維持管理費	1,261,100,750	1,324,359,735	△ 63,258,985
公演事業費	3,369,385,778	3,479,451,267	△ 110,065,489
附帯事業費	70,806,153	121,861,243	△ 51,055,090
その他	235,300	82,875	152,425
管理費	331,860,427	319,045,255	12,815,172
役員報酬	8,230,330	7,898,652	331,678
給料手当	140,015,194	136,405,287	3,609,907
退職給付費用	87,792,100	83,660,600	4,131,500
福利厚生費	28,107,302	26,399,197	1,708,105
一般管理費	50,530,063	48,263,706	2,266,357
施設維持管理費	17,117,238	16,214,913	902,325
交際費	68,200	202,900	△ 134,700
経常費用計	7,573,912,634	7,721,935,326	△ 148,022,692
評価損益等調整前当期経常増減額	187,121,646	△ 65,437,438	252,559,084
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	187,121,646	△ 65,437,438	252,559,084
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	187,121,646	△ 65,437,438	252,559,084
一般正味財産期首残高	143,995,273	209,432,711	△ 65,437,438
一般正味財産期末残高	331,116,919	143,995,273	187,121,646
II 指定正味財産増減の部			0
基本財産運用益	2,012	2,006	6
受取寄附金等	11,046,000	19,302,520	△ 8,256,520
一般正味財産への振替額	△ 1,162,369	△ 10,645,956	9,483,587
当期指定正味財産増減額	9,885,643	8,658,570	1,227,073
指定正味財産期首残高	124,708,570	116,050,000	8,658,570
指定正味財産期末残高	134,594,213	124,708,570	9,885,643
III 正味財産期末残高	465,711,132	268,703,843	197,007,289

正味財産増減計算書内訳表
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 消去	合計
	公演事業	公演関連収益事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益			2,012		2,012
特定資産運用益	854		131,462		132,316
受取寄附金等	285,413,548		9,676,714		295,090,262
賛助金収益	282,943,286		9,676,714		292,620,000
寄附金収益	1,309,905				1,309,905
指定寄附金振替額	1,160,357				1,160,357
受託収益	3,898,455,057	27,768,147	321,077,796		4,247,301,000
管理受託収益	3,426,174,057	27,768,147	321,077,796		3,775,020,000
公演受託収益	472,281,000				472,281,000
研修事業等収益	65,388,097				65,388,097
公演事業収益	2,516,561,016	1,027,923			2,517,588,939
劇場入場料収益	2,183,164,211				2,183,164,211
外部公演収益	230,359,967				230,359,967
公演附帯収益	92,111,528	1,027,923			93,139,451
中継放送収益	10,925,310				10,925,310
施設使用料収益	212,888,004	12,434,928			225,322,932
受託事業収益	287,032,355				287,032,355
附帯事業収益	2,169,000	57,600			2,226,600
協賛金収益	120,942,270				120,942,270
雑収益			7,497		7,497
経常収益計	7,388,850,201	41,288,598	330,895,481	0	7,761,034,280
(2) 経常費用					
事業費	7,198,545,950	43,506,257			7,242,052,207
役員報酬	48,739,153	1,004,326			49,743,479
給料手当	980,510,003	12,797,109			993,307,112
福利厚生費	197,951,690	3,232,958			201,184,648
一般管理費	957,236,895	9,611,827			966,848,722
交流・研修費	329,440,265				329,440,265
施設維持管理費	1,249,243,372	11,857,378			1,261,100,750
公演事業費	3,365,466,416	3,919,362			3,369,385,778
附帯事業費	69,722,856	1,083,297			70,806,153
その他	235,300				235,300
管理費			331,860,427		331,860,427
役員報酬			8,230,330		8,230,330
給料手当			140,015,194		140,015,194
退職給付費用			87,792,100		87,792,100
福利厚生費			28,107,302		28,107,302
一般管理費			50,530,063		50,530,063
施設維持管理費			17,117,238		17,117,238
交際費			68,200		68,200
経常費用計	7,198,545,950	43,506,257	331,860,427	0	7,573,912,634
評価損益等調整前当期経常増減額	190,304,251	△ 2,217,659	△ 964,946	0	187,121,646
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	190,304,251	△ 2,217,659	△ 964,946	0	187,121,646
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	190,304,251	△ 2,217,659	△ 964,946	0	187,121,646
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	190,304,251	△ 2,217,659	△ 964,946	0	187,121,646
一般正味財産期首残高					143,995,273
一般正味財産期末残高					331,116,919
II 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益			2,012		2,012
受取寄附金等	11,046,000				11,046,000
一般正味財産への振替額	△ 1,160,357		△ 2,012		△ 1,162,369
当期指定正味財産増減額	9,885,643	0	0	0	9,885,643
指定正味財産期首残高					124,708,570
指定正味財産期末残高					134,594,213
III 正味財産期末残高					465,711,132

キャッシュ・フロー計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 当期一般正味財産増減額	187,121,646	△ 65,437,438	252,559,084
2. キャッシュ・フローへの調整額			
①基本財産の増減額	0	0	0
②退職給付引当金の増減額	8,480,200	47,596,000	△ 39,115,800
③未収金の増減額	△ 53,834,778	128,085,873	△ 181,920,651
④棚卸資産の増減額	7,059,904	28,913,099	△ 21,853,195
⑤その他資産の増減額	△ 1,763,713	△ 20,522,556	18,758,843
⑥賞与引当金の増減額	5,325,492	10,376,337	△ 5,050,845
⑦未払金の増減額	58,809,884	△ 390,516,252	449,326,136
⑧前受金の増減額	△ 76,084,096	119,840,437	△ 195,924,533
⑨その他負債の増減額	△ 63,371,760	42,134,152	△ 105,505,912
⑩指定正味財産からの振替額	△ 1,162,369	△ 10,645,956	9,483,587
小計	△ 116,541,236	△ 44,738,866	△ 71,802,370
3. 指定正味財産増加収入			
指定正味財産運用益	2,012	2,006	6
受取寄附金等	11,046,000	19,302,520	△ 8,256,520
指定正味財産増加収入計	11,048,012	19,304,526	△ 8,256,514
事業活動によるキャッシュ・フロー	81,628,422	△ 90,871,778	172,500,200
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
退職給付引当特定資産の取崩収入	79,311,900	36,064,600	43,247,300
公演事業等指定寄附金特定資産の取崩収入	1,160,357	10,643,950	△ 9,483,593
公演事業等損失特定資産の取崩収入	0	0	0
日本博関連対象公演特定費用準備資金の取崩収入	0	0	0
新制作公演拡充特定費用準備資金の取崩収入	0	20,000,000	△ 20,000,000
国際展開公演制作特定費用準備資金の取崩収入	0	50,000,000	△ 50,000,000
投資活動収入計	80,472,257	116,708,550	△ 36,236,293
2. 投資活動支出			
退職給付引当特定資産の繰入支出	87,837,376	77,293,973	10,543,403
30周年記念事業特定費用準備資金の繰入支出	60,000,000	0	60,000,000
公演事業等指定寄附特定資産の繰入支出	11,046,000	19,302,520	△ 8,256,520
投資活動支出計	158,883,376	96,596,493	62,286,883
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 78,411,119	20,112,057	△ 98,523,176
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	3,217,303	△ 70,759,721	73,977,024
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,191,523,086	1,262,282,807	△ 70,759,721
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,194,740,389	1,191,523,086	3,217,303

(注) 資金の範囲 資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

(注) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲載されている科目との関係

	当年度	前年度
現金預金勘定	1,194,740,389	1,191,523,086
預入期間が3カ月を超える定期預金	0	0
現金及び現金同等物	1,194,740,389	1,191,523,086

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品、公演制作費等の仕掛品及び貯蔵品は、棚卸資産に含めている。

商品：先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

仕掛品：個別原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

貯蔵品：最終仕入原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

(2) 引当金の計上基準

ア 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

イ 賞与引当金

役職員に対する賞与等の支給に備えるため、支給見込額の当期対応分を計上している。

ウ 退職給付引当金

役職員の退職給付に備えるため、役職員が自己都合で退職した場合の期末要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	100,300,000	0	0	100,300,000
小 計	100,300,000	0	0	100,300,000
特定資産				
退職給付引当特定資産	859,898,630	87,837,376	79,311,900	868,424,106
30周年記念事業特定費用準備資金	40,000,000	60,000,000	0	100,000,000
公演事業等指定寄附特定資産(注)	24,408,570	11,046,000	1,160,357	34,294,213
小 計	924,307,200	158,883,376	80,472,257	1,002,718,319
合 計	1,024,607,200	158,883,376	80,472,257	1,103,018,319

(注) 公演事業等指定寄附特定資産の内訳は、オペラ公演2,326,150円、舞踊公演3,139,000円、演劇公演1,393,100円、オペラ研修事業15,114,413円、バレエ研修事業2,357,200円、オペラ研修事業又はバレエ研修事業1,000,000円、演劇研修事業964,350円、国際展開事業8,000,000円である（3 基本財産及び資産の財源等の内訳も同様）。

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
現金預金	100,300,000	(100,300,000)	—	—
小 計	100,300,000	(100,300,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当特定資産	868,424,106	—	—	(868,424,106)
30周年記念事業特定費用準備資金	100,000,000	—	(100,000,000)	—
公演事業等指定寄附特定資産	34,294,213	(34,294,213)	—	—
小 計	1,002,718,319	(34,294,213)	(100,000,000)	(868,424,106)
合 計	1,103,018,319	(134,594,213)	(100,000,000)	(868,424,106)

4 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	388,177,805	846,434	387,331,371
合 計	388,177,805	846,434	387,331,371

5 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
寄附者指定事業（オペラ研修）充当振替額（受取寄附金等）	500,357
寄附者指定事業（バレエ研修）充当振替額（受取寄附金等）	660,000
基本財産受取利息を通常の事業に充てるための振替額	2,012
合 計	1,162,369

6 関連当事者との取引の内容

(1) 主要な受託先法人

法人等の名称	独立行政法人日本芸術文化振興会		
住 所	東京都千代田区隼町 4 - 1		
資産総額	240,226,300千円		
事業の内容	芸術文化の振興		
議決権の所有割合	無し		
関係内容	役員の兼務等	無し	
	事業上の関係	役務の提供	
取引の内容	新国立劇場において行われる現代舞台芸術に係る業務及び劇場の管理運営（業務委託契約）		
取引金額	受託収益	4,247,301,000円	—
	受託事業収益	71,051,000円	—
科 目	預り金	—	—
期末残高	2,480円	—	—

(2) 役員及びその近親者

該当ありません。

7 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、特定資産の一部を運用する場合には、原則として満期保有を目的とした債券による。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

運用資産は、原則として満期保有を目的としているが、当期は債券を保有していない。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

① 個々の原議決済に基づく取引

金融商品の取引は、個々の原議決済に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、必要に応じて担当役員に報告する。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているので省略。

2 引当金の明細

引当金の明細は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	95,549,448	100,874,940	95,549,448		100,874,940
退職給付引当金	1,121,491,900	87,792,100	79,311,900		1,129,972,100

(注) 役員特別手当に係る引当金についても賞与引当金に含めて計上している。

(注) 役員退職慰労金に係る引当金についても退職給付引当金に含めて計上している。

(注) 貸倒引当金については財務諸表に対する注記に記載しているので省略。

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			1,194,740,389
現金手許有高			6,580,357
普通預金			1,177,138,638
	三井住友銀行東京公務部	運転資金として	564,932,246
	三井住友銀行本店営業部	"	58,692,298
	三菱UFJ信託銀行新宿支店	"	8,409,068
	三菱UFJ銀行西新宿支店	"	203,473,450
	三菱UFJ銀行新宿西支店	"	141,094,590
	みずほ銀行新宿新都心支店	"	173,532,253
	みずほ信託銀行新宿支店	"	10,304,784
	りそな銀行新都心営業部	"	13,247,116
	きらぼし銀行代々木支店	"	1,469,189
	大和ネクスト銀行	"	1,983,644
郵便貯金	ゆうちょ銀行	"	11,021,394
未収収益	定期預金利息	事業活動に伴う短期債権	99,018
未収金	入場料収入等	"	387,331,371
棚卸資産			122,125,821
貯蔵品	Suica、切手等	事業活動に伴う貯蔵品	405,842
商品（収益事業）	グッズ販売用	収益等事業活動に伴う商品	1,048,113
仕掛品	前払公演制作費等	公演事業活動に伴う仕掛品	120,671,866
前払金	各種年会費等	事業活動に伴う前払金	52,417,986
前払費用	未経過保険料	事業活動に伴う前払費用	16,334,760
仮払金	印紙税（納付計器）費等	事業活動に伴う仮払金	4,502,990
立替金	電気料金等	事業活動に伴う立替金	1,401,957
流動資産合計			1,778,954,292
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	三井住友銀行東京公務部 定期預金	法人の管理運営に用いる財産であり、運用益は法人会計に使用している。	56,300,000
"	みずほ銀行新宿新都心支店 定期預金	"	34,000,000
"	三菱UFJ信託銀行新宿支店 定期預金	"	10,000,000
基本財産合計			100,300,000
(2) 特定資産			
退職給付引当特定資産	三井住友銀行東京公務部 普通預金	退職給付引当金見合の財産	118,424,106
"	大和ネクスト銀行 定期預金	"	200,000,000
"	東京スター銀行 定期預金	"	500,000,000
"	野村証券 預け金	"	50,000,000
30周年記念事業 特定費用準備資金	三井住友銀行東京公務部 普通預金	公益目的事業財産	100,000,000
公演事業等指定 寄附特定資産	三井住友銀行東京公務部 普通預金	使用目的を指定された寄附金	34,294,213
特定資産合計			1,002,718,319
固定資産合計			1,103,018,319
資産合計			2,881,972,611
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	物品購入費、役務提供費等	事業活動に伴う短期債務	619,252,362
前受金	前受入場料等	事業活動に伴う前受金	512,933,295
預り金	源泉所得税等	事業活動に伴う預り金	53,228,782
賞与引当金		賞与見込額のうち当期分	100,874,940
流動負債合計			1,286,289,379
2. 固定負債			
退職給付引当金		役職員に対する退職金の支払いに備え管理しているもの。	1,129,972,100
固定負債合計			1,129,972,100
負債合計			2,416,261,479
正味財産			465,711,132

独立監査人の監査報告書

令和 6年 5月 29日

公益財団法人新国立劇場運営財団
理事会 御中

田中公認会計士事務所
東京都新宿区
公認会計士 田中 茂

公認会計士荻野恭将事務所
東京都北区
公認会計士 荻野 恭将

<財務諸表等監査>

監査意見

私たちは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人新国立劇場運営財団の令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドライン I - 5 (1) の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）、キャッシュ・フロー計算書及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私たちは、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用におけ

る理事の職務の執行を監視することにある。

私たちの財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私たちはその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私たちの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私たちが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私たちは、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私たちが報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのもので

はないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

- 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

私たちは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人新国立劇場運営財団の令和 6 年 3 月 31 日現在の事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

私たちは、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人

会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監査報告書

令和6年5月29日

公益財団法人 新国立劇場運営財団
理事長 銭谷眞美 殿

監事 河上恭雄

監事 中野敬久

私たち監事は、当財団の令和5年度（自令和5年4月1日至令和6年3月31日）における理事の職務の執行を監査しました。その方法および結果につき、以下の通り報告します。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席するほか、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」を「監査に関する品質管理基準」等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告等及び計算書類等（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書並びに財産目録）について検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

会計監査人の監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

以上